

## 除菌や消毒をうたった商品について正しく知っていますか？ ～新型コロナウイルス感染の防止に関連して～

新型コロナウイルス感染防止のため、除菌・消毒用のアルコール液剤が多く買い求められ、店頭では品薄状態となっています。皆さんは『除菌』と『消毒』について正しく理解していますか？手指消毒には適さない商品があたかも使えるかのように表示されて販売されているものもありますので、消費者へ情報提供します。

『除菌』・・・ 一般的に化学的・物理的に微生物を取り除くことをいうが、その対象や程度は公的には定められていない。

『消毒』・・・ 一般に有害な微生物を除去、死滅、無害化すること。手指の消毒は、医薬品や医薬部外品にしか使えない。

### 有効な消毒方法は？

手指からのウイルスの除去には、流水と石けんを使った丁寧な手洗いが有効です。流水と石けんでの手洗いができないときにアルコール消毒が有効です。皮膚の消毒をする場合は、消毒用アルコール（70%）、物の表面消毒には次亜塩素酸ナトリウム（0.1%）が有効であることがわかっています。

### 除菌や消毒をうたう商品に含まれる成分について

現在販売されている除菌や消毒用の商品には、①アルコール類（エタノールなど）、②次亜塩素酸ナトリウム、③次亜塩素酸水、④第4級アンモニウム塩、⑤二酸化塩素、などの成分が使われています。③～⑤の成分は新型コロナウイルス対策として消毒に活用することについて現在評価中なので、①と②について紹介します。

#### ① アルコール類

消毒に用いるアルコールは、通常、70%のエタノールが使用されますが、新型コロナ感染の対策としては、60%台のエタノールを使用しても差し支えないとされています。同じアルコールでも、メタノールは人体への毒性が高いので、手指の消毒には絶対に使用してはいけません。

#### ② 次亜塩素酸ナトリウム

家庭用の塩素系漂白剤の成分です。商品名でいうと、「ハイター」、「ブリーチ」「キッチン用漂白剤」といった名前をいうとわかりやすいでしょうか。食器やドアノブ等の身近なものを消毒するためには、水で0.05%に薄めて使用するのがよいとされています。また、家族に感染者がいる場合のトイレ、洗面所等の清掃には、市販の家庭用洗剤で清掃した後、0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを使用するとよいでしょう。次亜塩素酸ナトリウムは金属が腐食することがあるため注意が必要であり、皮膚が荒れることがあるため手指の消毒には適していません。

### 消費者へのアドバイス

- 手指からの新型コロナウイルスの除去には、流水と石けんを使った丁寧な手洗いが有効です。手洗いができない場合には70%のエタノールのようなアルコールが挙げられます。流水と石けんを使った丁寧な手洗いの後にアルコール消毒液は必要ありません。
- 食器・ドアノブ等の身近なものの消毒には、次亜塩素酸ナトリウムを薄めて拭いた後、水拭きをしましょう。その際、忘れずに換気をしましょう。噴霧は、吸ったり目に入ったりすると健康に害を及ぼす可能性があるため、絶対に行わないでください。
- 家庭内の身近なものの消毒には、熱水でも有効です。食器や箸などは、80℃の熱水に10分間さらすと消毒ができます。これらの消毒は、新型コロナウイルスだけでなく、ノロウイルスなどにも有効です。
- 除菌や消毒を目的とする商品を購入、使用する際は、成分は何か、使用してもよい場所はどこか、薄めて使用するのかなど、広告や表示をよく確認してから使用するようにしましょう。

[令和2年5月 国民生活センター公表]

消費生活相談のことなら・・・

- 岐阜県県民生活相談センター 058-277-1003
- 輪之内町消費生活相談窓口(住民課) 0584-68-0185
- 消費者ホットライン ☎188